

# FD News letter

No.2  
2018年

## CONTENTS

1. 第1、2回新任者研修会
2. 学部FDセミナー
3. FD・SD ワークショップ

### 1. 新任者研修会（第1回、第2回）

第1回新任研修会を2018年4月25日（水）、世田谷キャンパス13N・12L教室にて開催しました。参加者は24名でした。これを4グループにわけ、グループディスカッション（お悩み相談）、情報共有、昨年度の新任教員からのアドバイス紹介、WebClass入門講座が行われました。情報共有で挙げられた意見には、「着任直後に大量のメールが届き、重要度の判断が出来なかった」、「研究の進め方はどうすべきか、学生に専門分野をどう学ばせるか」、「OfficeやWordを使えない学生が増えている」、「学生のレベルのバラツキが大きい」、「学生（3年生）への「何がやりたいか？」との質問は、目的のない学生にとって苦痛となる」、「授業の進め方はどのようにしているか、例えば、スライドと板書はどちらが効果的か」、「教科書をどのように利用しているのか」、「高学年になると自分の専門以外に興味を示さなくなる。どのように興味・関心を広げるか」などがありました。第1回研修会を終え、参加者からは「大変有意義であった」、「まあまあ有意義であった」との回答をいただきました。さらに、異なる分野の先生方と交流が持てたことは大変良かった、授業の進め方や手法（PPT/板書）など同じ悩みを抱えていることが知れて良かった、WebClassの使い方は大変役に立った、などの感想が寄せられました。

第2回新任者研修会は2018年7月4日（水）に世田谷キャンパス13Q教室にて開催されました。参加者は18名でした。第1回と同様に参加者は4グループに分かれ、本学の育成する人材像についてグループディスカッションを行いました。「低学年のうちからジェネラリストを育てる教育は可能か」、「真面目さとい

う要素は都市大生の強みとして活かすことが重要」、「褒める・否定しないことで自己肯定感を高め、学生の自発性を伸ばすことが必要」、「劣等感を自信に変えることのできる評価システム（大学間連携の活発化、TAとしての採用など）の形成が重要」などの意見が出されました。



### 2. 学部FDセミナー

2018年度の学部FDセミナーは、教育開発機構の伊藤通子先生を講師に向かえ、5回シリーズのセミナーとして開催されました。各回テーマが決められ、伊藤先生により講義が行われました。参加者からは、「キャリア教育との連携を考えなければならない」、「理念を意識した講義の組み立てが必要であることを確認しました」、「シラバス作成の際に参考にしたい」、「PBLの具体的手法（リサーチメソッド、カテゴリー

回	日付	参加者数	テーマ
1	6月27日	9	授業のデザイン方法一文脈・学習者・ツールに焦点を当ててー
2	7月6日	8	PBLやALは学生を当事者にするところから
3	10月2日	4	AL・PBL・卒研の教育的特徴とつながり
4	11月22日	4	都市大におけるPBLの在り方を考えるー第2回APシンポジウム（11/13）をふまえてー
5	11月26日	7	国内外の様々なPBL事例から学ぶ



ズ法など)をもっと知りたい。」などの感想がありました。

### 3. FD・SD ワークショップ

2018年8月22日・23日に、丸紅多摩センター研修所でFD・SDワークショップ（FD：教員による教育改善、SD：職員による職場改善）を開催しました。今年度のテーマは「学生を育てる—主体性を育む教育を目指して—」とし、学生の主体性について意見交換を行うとともに、主体性を育む施策についてのグループワークを行いました。

まず、オリエンテーションにおいて開会挨拶、事務連絡に続いて、4つのキーワードからなる自己紹介によりアイスブレイクを行いました。これにより、グループメンバー間の緊張をほぐし、後のグループワークのための雰囲気づくりの場としました。

WS0では、参加者が日頃接している学生のイメージや学生の特徴を表す事例を紹介しあい、「主体性とは」「主体性を導くには」などのテーマについて議論することで、「主体性」をキーワードとして学生の伸ばすべき強み、補うべき弱みを発掘しました。

WS1では、学生の主体性を育む仕組みを提案するため、欠点列挙／希望点列挙法に則り、「なぜなぜ5フレーム」に基づく分析法を用いてアイデア出しとその深堀りを行いました。議論の成果をグループごとに発表しあい、成果を共有しました。

WS2では、身体活動を通じた学びの手法を体験しました。チームメイトを探す段階から言葉を介さないコミュニケーションを体験するなど、参加者が実際に体を動かしながら、身体表現による学びとその意図・効果についての解説を聞き、理解を深めました。これらを通じて、座学でない学びのスタイルを実体験することができました。

WS3では、これまでのグループワークの成果を企画書／授業計画書として具体化しました。各グループで作成した企画書の内容を発表しあい、スタッフが提示した「シラバス」に則って相互評価し、「学修成果の可視化」のプロセスを疑似体験しました。

最後に、まとめとして、参加者、スタッフ全員の振り返りを共有しました。参加者からのコメントでは、「このワークショップを通して教職をまたぐ横のつながりを得られた」、「学生を育てることに対する意識がより高まった」など、教職員の前向きな姿勢が多く示されました。「具体的な教職員のスキルについて意見交換する場が欲しい」との要望も寄せられました。また、今回初めて協定校の高知工科大学の職員をお迎えし、各WSに参加いただきました。これにより大学間の情報交換、交流を行うことができました。以上の取り組みは、FD・SDを目的としたワークショップとして大変有意義なものでありました。

1日目（8月22日）	
午前	オリエンテーション
	WS0 <学生を知る－学生の特徴と意見交換>
午後	WS1 <多角的な視点から、学生を改めて知る>
	WS2 <身体表現WS>
2日目（8月23日）	
午前	WS3 <学生を育てる仕組みと取り組み>
	全体の振り返り・まとめ

